

1.長期成長ビジョン

国内外で想定される再生エネルギー需要増加の後押しを受け、鹿児島工場への新工場設立による蓄電池製造を起点とした施策を実行することで、2030年度に2024年度比602億円の売上増加を目指す。

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

私たちは“未来から今を見る”を合言葉にし、地域と世界をつなぐ、国産再生エネルギー・ソリューション企業を目指しています。

目指す姿に向け以下、成長の3本柱を実行していきます。

① メイドインジャパン

鹿児島工場で蓄電池の国産製造を開始し、“ジャパン・クオリティ”による信頼を確立

② 統合ソリューションの深化（太陽光×蓄電池×EMS^{*}）

再エネの創る・貯める・使うを自社技術で一体提供し、法人・自治体に最適提案を実現

③ 地域共創とグローバル展開の両立

地元雇用・資源活用で地域に根ざしながら、国内外（日本12GWh、海外20GWh）の案件に対応

会社全体の売上成長目標（～2030年）

- 売上高成長率 753%
- 売上高増加額 602億円

会社全体の賃上げ目標

- 年平均 9.5%（直近事業年度～基準年度）
- 年平均 7.4%（基準年度～事業化報告3年目）

外発的動機

① 国の脱炭素政策・エネルギー政策の加速

政府は再エネ比率36～38%の実現に向け、太陽光とともに蓄電池を中核インフラと位置づけ、その整備を国策として加速している。

② 海外依存に対する国内製造回帰の動き

蓄電池の海外依存が高まる中、日本国内での安定供給体制の確立は、コストだけでなく産業安全保障の観点からも急務となっている。

③ 市場の構造変化と顧客ニーズの高まり

太陽光+蓄電池の需要が国内外で急増する中、当社には既に大規模案件が進行しており、国産による安定供給への期待が高まっている。

内発的動機

・日本の技術で、安心できるエネルギーを届けたい

かつて世界をリードしていた日本のエネルギー技術を再び国内外へ発信したいという想いから、2014年にエネルギー・ギャップを創業しました。10年かけて国内工場を立ち上げ、「メイド・イン・ジャパン」の品質と信頼を築いてきた。

・蓄電池販売のビジネスチャンスが到来

蓄電池の需要が世界中で爆発的に増加する中、当社も日本・米国で合計30GWh超の大型プロジェクトに関与している。

・国内製造による地域共生

蓄電池事業の国内化は、地域との共生・雇用創出・賃上げといった社会的責任を果たす取り組みに繋がると考えている。

2.補助事業の概要

太陽光事業の強化を図りつつ、急拡大する蓄電池市場の波を確実に捉えるため、次なる成長戦略として鹿児島工場敷地内に蓄電池製造ラインを含む新工場建屋を建設する。

補助事業の背景・目的

- 現時点で既に、日本国内では約12GWh分の蓄電池プロジェクト、またアメリカ市場では約20GWh分もの商談・提携案件の受注・共同開発・納入に向けた交渉を進行中。
- 一方で、現在取り扱っている蓄電池製品は海外メーカー製を当社が輸入して顧客へ提供しており、コスト・供給の安定性・品質面で課題が顕在化。

事業費(補助額)

87億円
(26億円)

設備投資の内容

- 当社で責任をもち高品質な製品・サービスを提供するため、以下を実行する。
 - ✓ 鹿児島工場敷地内における新建屋の建設
 - ✓ 蓄電池システム製造ラインの新設
 - ✓ 太陽電池モジュール新製造ラインの設置
 - ✓ 製造ラインEMS管理システムの構築
- 補助事業により以下を実現し、労働生産性の向上を見込む。
 - ✓ 新工場では効率的なレイアウトに更新、効率的な設備を導入し生産・人員効率を高める。
 - ✓ 新たに蓄電池製造組立を開始し、既存製品と統合ソリューションとして提供可能とすることで、増加した付加価値を原資に賃上げを実施する。



EG鹿児島工場（鹿児島県出水市）

目標値

項目	2027年度 (基準年度)	2030年度 (基準年度 + 3年後)
労働生産性 (単位：万円/人)	3,144	10,294 (年平均上昇率 + 48.5%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	497	592 (年平均上昇率 + 6.0%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率 + 6.0%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	82	87